

ナショナル・バイオリソース・プロジェクト
中核拠点整備プログラム・広義キク属

令和2年度運営委員会 議事録

広島大学大学院統合生命科学研究科
附属植物遺伝子保管実験施設

【日時】令和2年12月25日（金）（Zoomによるオンライン開催）

13:00～13:50

広義キク属研究セミナー（オンライン公開セミナー）

「キクタニギク高精度全ゲノム塩基配列決定と分子遺伝学研究への展開」

講演者：草場 信 広島大学大学院統合生命科学研究科 教授（NBRP 課題管理者）

→ キク関係の研究者を中心に42名が参加した。

14:00～16:00

NBRP 広義キク属運営委員会

【出席者】（敬称略）

運営委員：

柴田 道夫（委員長・東京大学）、深井 誠（香川大学）、久松 完（農業・食品産業技術総合研究機構）、増田 優（東海大学）、奥村 義秀（愛知県農業総合試験場）、松田 一彦（近畿大学）、佐藤 豊（国立遺伝学研究所）、中田 政司（富山県中央植物園）、明石 良（宮崎大学）、廣瀬 信雄（イノチオ精興園株式会社）

課題担当者（広島大学）：

草場 信（代表機関課題管理者）、中野 道治（分担研究者）、谷口 研至（分担研究者）、小塚 俊明（分担研究者）、信澤 岳（分担研究者）、清戸 義博（広島大学事務担当者）、日置 勝重（広島大学事務担当者）、日野 浩恵（広島大学事務担当者）

オブザーバー：

西村 いくこ（推進委員・甲南大学）、辻山 隆（文部科学省ライフサイエンス課）、笹土 隆雄（AMED NBRP 担当）

【報告事項】

1. 令和2年度 業務進捗状況 業務計画書に基づいた報告

① リソースの収集

- ・ミコシギクの寄託を受け入れる予定。目標系統数を達成の見込みである。

② リソースの保存・バックアップ

- ・中田委員より寄託予定のミコシギクと富山県におけるバックアップの状況について説明が行われた。宮崎大学において BAC ライブラリのバックアップ保管を開始した。

③ リソースの提供

- ・新たに国内の民間企業 2 社への提供が行われた一方、教育用提供の減少などに伴い提供数が伸び悩んでいる。主にコロナ感染拡大の影響と考えられる。

④ 品質確保・高度化

- ・Gojo-0 のゲノム情報は公開しているが、アノテーションデータについては PlantGarden より公開する予定である。

⑤ 事業の総合的推進

- ・新たに民間企業・バックアップ機関の運営委員等に参加いただくこととなった。

2. 第 4 期中間評価・ヒアリングの報告

- ・Gojo-0 の全ゲノム配列公開が遅れている指摘に対して、プレプリントサーバの利用なども含めてできるだけ早く公開できるよう進めて行く。

2. その他

- ・現運営委員長の柴田先生は 3 月に退職を迎えられるが、来年度も委員長を継続いただけるとことが報告された。

【議題】

1. NBRP 第 5 期に向けて

- ・高精度な Gojo-0 ゲノム配列が得られ、研究基盤がようやく整った。今後は Gojo-0 を核として、変異体リソースなど品揃えを充実させると共に情報リソースも整備を進めることでキク科のリファレンスリソースとなることを目指していく。

2. 広義キク属研究 最近の話題

- ・Gojo-0 の全ゲノム塩基配列決定について、その詳細と研究への応用例を草場より紹介した。各国のゲノム解析の現状などについて報告され、中国の動向などを含め議論された。

3. その他

- ・CRISPR ベクターをリソースとすることについて参加者の皆様より意見を伺った（継続して検討）。

以上